

平成24年3月24日

# 教育委員会第3回臨時会記録

石巻市教育委員会

## 教育委員会第3回臨時会記録

◇開会年月日 平成24年3月24日(土曜日) 午後 1時30分開会  
午後 2時23分閉会

◇開催の場所 本庁舎4階 401会議室

◇出席委員 5名

委員長	阿部盛男君	委員	鶴岡昭雄君 (委員長職務代行者)
委員	今井多貴子君	委員	津嶋ユウ君
教育長	境直彦君		

◇欠席委員 なし

◇説明のため出席した者の職氏名

事務局長	佐藤和夫君	事務局次長兼 教育総務課長	小畑孝志君
事務局次長 (災害復興 担当)	真保洋君	学校教育課長	山田元郎君
学校管理課長	菅原正好君	生涯学習課長 兼中央公民 館長	高橋忠之君
体育振興課長	亀山栄記君	歴史文化資料 展示施設整備 対策室長	菊地広君

◇書記

教育総務課長 補佐	大崎正吾君	教育総務課 主任主事	山内龍一郎君
--------------	-------	---------------	--------

◇付議事件

審議事項

第17号議案 石巻市立学校施設災害復旧整備計画について

第18号議案 職員の人事について

その他

午後 1時30分開会

○委員長（阿部盛男君） 皆さん、こんにちは。

けさは、早朝来、谷川小学校の閉校式ご出席いただきまして、ありがとうございます。引き続きこれから臨時会ということですので、よろしく願いいたします。

なお、本日ですが、傍聴人より撮影の申し出がありましたので、冒頭の撮影のみ許可するということにいたします。

ただいまから、平成24年第3回臨時会を開会いたします。

本日の会議ですが、欠席委員はございません。

---

#### 会議録署名委員の指名

○委員長（阿部盛男君） 本日の会議録の署名委員の指名を行います。本日の会議録署名委員は、津嶋委員をお願いをいたします。

本日の案件ですが、審議事項が2件及びその他となっております。ただし、平成24年第1回の臨時会で提案があり、継続審議としておりました第5号議案 石巻市立学校施設災害復旧整備計画については、議案内容に大幅な変更が生じたことから、取り下げ願いたいとの申し入れが事務局よりありましたので、第5号議案は取り下げることにしてよろしいでしょうか。

（「異議なし」との声あり）

○委員長（阿部盛男君） 異議ありませんので、第5号議案は取り下げいたします。

---

#### 第17号議案 石巻市立学校施設災害復旧整備計画について

○委員長（阿部盛男君） それでは、審議事項に入ります。

第17号議案 石巻市立学校施設災害復旧整備計画についてを議題といたします。

事務局次長兼教育総務課長から説明をお願いいたします。

○事務局次長兼教育総務課長（小畑孝志君） それでは、第17号議案 石巻市立学校施設災害復旧整備計画についてご説明を申し上げます。

本議案につきましては、ただいま取り下げの承認をいただきました第5号議案の石巻市立学校施設災害復旧整備計画について、平成24年第1回臨時会に提案申し上げておりましたが、雄勝地区、それから北上地区におきまして、それぞれ要望書を提出する動きがございましたことから、継続審議としての取り扱いをお願いしておったところでございます。雄勝地区におきましては、

本年2月17日付で雄勝地区父母教師会連合会、それから雄勝地区区長会、それから雄勝地区震災復興まちづくり協議会から雄勝地区統合小・中学校の早期建設整備についての要望書が提出されました。その要望書の内容は、雄勝地区の小・中学校をそれぞれ1校に統合して、併設校として大浜地区に住環境の整備とあわせて早期開校を切望するというものでございました。また、北上地区におきましては、本年の2月28日付で相川小学校、それから吉浜小学校、橋浦小学校、3校の父母教師会から3校統合に伴う高台移転に関する請願という形で提出されたところでございます。その請願については、平成25年度統合を受け入れるものの、児童の安全を第一と考え、高台移転による学校設備を強く要望するというものであります。これらの要望を踏まえて、再度学校施設災害復旧整備計画の内容を変更いたしましたので、改めて第17号議案としてご提案申し上げます。

それでは、内容についてご説明申し上げます。別冊1をごらんいただきたいと思います。

第5号議案と大きく変わる部分は、要望書の提出がございましたただいまの雄勝、北上の2地区のみでございますので、その他の地区に関しては説明を省略させていただきます。

10ページをごらんいただきます。

雄勝地区につきましては、本校舎の建設時期を雄勝地区の復興状況を見きわめてからとしていたものを、雄勝地区に住環境の整備にあわせてと変更し、建設場所を住民合意のあった大浜地区と明記をして、小中併設校として建設するというところで変更しているところでございます。

また、統合の対象校につきましては、船越小学校を雄勝小学校に統合するとしていたものを、それに加えて併設校の開校時に大須小学校と大須中学校をそれぞれ統合すると変更しております。

次に、12ページ、北上地区につきましては、3校を統合して橋浦小学校現校舎を使用するとしていたものを、3校を統合して当分の間、橋浦小学校現校舎を使用する。本校舎の建設を北上地区に住環境の整備にあわせて、にっこりサンパーク周辺に移転新築すると変更しているところでございます。

その他の地区につきましては、大幅な変更はございませんが、石巻市立学校施設災害復旧整備計画の策定が3月末となりましたことから、児童・生徒数の長期見込みについて現段階での住民基本台帳をもとに、新たに算出いたしましたほか、昨年10月1日現在の児童・生徒数を本年3月1日現在の児童・生徒数に改めております。また、統合した場合の児童・生徒数につきましても、前回は一律平成24年度の児童・生徒数としておりましたが、それぞれ石巻市立学校施設災害復旧整備計画における統合年度の児童・生徒数に改めております。

以上でございます。よろしく審議賜りますようお願い申し上げます。

○委員長（阿部盛男君） ただいまの説明に対してご質疑等ございましたらどうぞ。

ございませんでしょうか。よろしいですか。

（発言する者なし）

○委員長（阿部盛男君） それでは、本件について審議に入りたいと思います。

審議方法については、別冊1の1ページをごらんください。背景から2ページ5津波避難ビルの構造的要件までをまとめて審議し、6の復旧整備計画につきましては、各地区に分けて審議していきたいと思います。

修正が必要なものについては、その都度修正したものを修正案として審議していきたいと思いますが、委員の皆様方それでよろしいですか。

（「はい」との声あり）

○委員長（阿部盛男君） それでは、1ページ、背景から2ページ、5津波避難ビルの構造的要件までについてご意見ございましたらどうぞ。

ございませんでしょうか。

（発言する者なし）

○委員長（阿部盛男君） 1点お聞きしますが、津波避難ビルとなりますと、有事に備えての医薬品、食料品等当座の何日間分ここに備蓄するということになるのでしょうか。

○事務局次長兼教育総務課長（小畑孝志君） 備蓄については、本市の防災対策課が主となりまして、既に暖をとる毛布とか、そのほか飲料水、簡単な食料を備蓄しているところでございます。

○委員長（阿部盛男君） その他ございませんでしょうか。

（発言する者なし）

○委員長（阿部盛男君） それでは、1ページ背景から2ページの5津波避難ビルの構造的要件までについて原案のとおり決することにしてよろしいでしょうか。

（「はい」との声あり）

○委員長（阿部盛男君） それでは、原案のとおり決定いたします。

それでは、次に3ページごらんください。復旧整備計画の門脇地区についてご意見ございませんでしょうか。

よろしいでしょうか。

（発言する者なし）

○委員長（阿部盛男君） それでは、門脇地区については原案のとおり決定をいたします。

次、湊地区についていかがでしょうか。原案のとおり決定してよろしいでしょうか。ございま

せんでしょうか。

(発言する者なし)

○委員長(阿部盛男君) 1点お聞きしますが、湊地区、湊小学校、あるいは中学校ですが、河川堤防、土盛りとかいわゆる多重防御の件ですが、これは平成25年度中に完成予定でしょうか。

○事務局次長兼教育総務課長(小畑孝志君) 特に河川堤防については、けさの新聞でしたか、7.2メートルから8.4メートルの高さということで、平成25年度に着手するということですので、平成24年度に実施計画に入るのかなと考えております。詳しい情報については、私どもには入っておりませんが、河川堤防も海岸堤防もいずれも5年間を目標に国及び県が整備するというので賜っております。

○委員長(阿部盛男君) そうしますと、ここに計画のところに書いてありますが、例えば湊中学校が平成26年4月から現校舎で再開、これは可能になりますか。

○事務局次長兼教育総務課長(小畑孝志君) そこをつけているのが先ほどご承認いただきました2ページ目の津波避難ビルの構造的要件に入ると思います。仮に、今次のような津波が来たとしても、例えば湊中学校ですか、例とすれば2ページ目の湊中学校の1階天井まで、これが浸水でございます。要は、3メートル以上あった津波の浸水地域については、4階建て以上が必要でありますというのが5番の避難ビルの要件、これに湊中学校は合致しています。ですから、湊中学校は現地での再開が可能です。ただし、湊第二小学校については、同じような浸水ですけれども、3階建てのビルであるということから、この避難ビルとしての安全性には合致しないので、今回湊小学校へ統合するという事になったものでございます。

○委員長(阿部盛男君) はい、わかりました。

そのほかございませんでしょうか。

○委員(津嶋ユウ君) 5ページの湊地区の今後の対応のところですが、湊小学校は統合するまでの期間住吉中学校に間借りを継続するという事なんですが、統合するまでは2年ありますね、その間、小学校が中学校に間借りするわけですので、特別教室等は仮設校舎をつけ足すようですが、門脇小学校は門脇中学校で世話する中で、トイレなど小学生対応にするのは計画されているのか、もう既にされているのか伺えますか。

○委員長(阿部盛男君) 事務局次長兼教育総務課長、そのところについて。

○事務局次長兼教育総務課長(小畑孝志君) 湊小学校、今住吉中学校に間借りしているわけですが、この住吉中学校については、トイレの改造というのも、例えば踏み台をつけるとかそういう程度で、すぐに2年たてばまた戻さなければならないものですから、大改修というので

はなくて、小学生の児童でも利用できるような台をつける程度というように、双方考えております。

○委員（津嶋ユウ君） 今後やるわけですね。じゃ、門脇中にやるような方向を決めていきますね。はい、わかりました。

○委員長（阿部盛男君） よろしいでしょうか。

それでは、湊地区について原案のとおり決してよろしいですか。

（「はい」との声あり）

○委員長（阿部盛男君） 次にまいります。渡波地区についてご質問等ございましたら。

○委員（津嶋ユウ君） 7ページ、渡波中学校は平成 28 年度末までに内陸部に移転新築するという計画ですが、予定地というか、候補地というか、その辺はあるのでしょうか。

○委員長（阿部盛男君） 事務局次長兼教育総務課長。

○事務局次長兼教育総務課長（小畑孝志君） 今のところ、市の復興計画の新市街地とあわせて整備を行う予定でございます。ですので、用地の調整についても、渡波の駅の北側の部分、根岸地区といいますか、あの辺に市街地の形成と一体となって計画をしていくという段階でございます。

○委員長（阿部盛男君） 新市街地を形成するわけですが、ある程度市街地区画した段階で学校用地もきちっと出るわけですね。そうしたとき、住宅が建設されるわけですね、それをある程度完成するまで待つてやるのでは、学校教育に多少支障がないわけではない、スピードを出してこのところ学校建設というのは出ないものなんでしょうか。

○事務局次長兼教育総務課長（小畑孝志君） その整備計画を示しているのが2ページ目の4の標準的復旧整備スケジュールだろうと思います。仮に、今まだ用地交渉中でございますけれども、用地交渉がまとまり次第、ちょうど4の標準的なスケジュールの上から4つ目でございますね、用地を取得しまして、地質調査、調整するというのに大体2年ぐらいかかります。それから、その後、それにあわせて設計業務をやって、校舎、体育館、プール等を整備するのに2年半かかるということなんで、どうしても5年程度はかかる。それでもってやりますと、平成 28 年度末と、ただ、私どもとしましてはできる限り早期の完成に向けて努力してまいりたいと思っております。

○委員長（阿部盛男君） そうですね、そういう考えで進めていただければと思います。

そのほかございませんでしょうか。

（発言する者なし）

○委員長（阿部盛男君） それでは、渡波地区については原案どおり可決してよろしいですか。

(「はい」との声あり)

○委員長(阿部盛男君) それでは次、8ページです。河北地区にまいります。

ご質疑ございましたらどうぞ。

ございませんでしょうか。

よろしいですか。どうぞ。

○委員(今井多貴子君) 説明のところに大川小学校についてはきめ細やかな指導が必要であることから書いてありますが、移転新築するということですが、やはりさつき津嶋委員がお聞きしたような用地、この間田んぼの中とかいろいろ案が出ましたけれども、いろいろな問題点も出たかと思うんですが、今は大体用地の検討というのはその後何か進んでいるんでしょうか。

○委員長(阿部盛男君) 事務局次長兼教育総務課長、どうぞ。

○事務局次長兼教育総務課長(小畑孝志君) 大川小学校の移転新築についてご父兄、それから地域住民の方々の希望は、やはり安全な高台というものでございました。それじゃその高台というのは、現況を見てみますと被災の一番大きかった雄勝と雄勝に至る道路の付近以外に地域には余り見当たらない部分がございます。そうしてきますと、必然的に高台なのか、それとも田んぼと申しますか、田んぼを埋め立てて、高台のようにして造成するのか、そういうようなことを今後河北総合支所と一体となって地域住民と協議をしながら、場所については徹底していきたいと思っております。高台でなければ、期間については5年よりは詰まると思っています。

○委員長(阿部盛男君) よろしいでしょうか。

そのほかございませんでしょうか。

はい、どうぞ。

○委員(津嶋ユウ君) 中学校についてお聞きしたいんですが、大川中学校は、現在飯野川中学校に間借りしているんですね。でも、統合は河北中学校と申すのは、これは地域的に河北中が近いからになったのか、人数、生徒数の関係なのか、その点お聞きします。

○事務局次長兼教育総務課長(小畑孝志君) 学区的に言えば、追波川から南側の地域だということ、河北中学校に決定したと、地域的なものです。

○委員(津嶋ユウ君) 今回、飯野川中学校に間借りを最初したのは何でだったんでしょうというのは変ですけども、その当時は。

○学校教育課長(山田元郎君) その当時の空き教室等の関係です。教室数の開いている部分を小学校と中学校といろいろと組み合わせた結果、やはりここしかないということで、いろんな考案の中からそのようになりました。



○委員長（阿部盛男君） そのほかございませんでしょうか。

出ませんでしたら、原案のとおり決定してよろしいですか。

（「はい」との声あり）

○委員長（阿部盛男君） それでは、次にまいります。

雄勝地区です。ございましたらどうぞ。

ございませんでしょうか。

（発言する者なし）

○委員長（阿部盛男君） それでは、事務局次長兼教育総務課長、お聞きします。

現在、大須小学校はあのと通りの広い校地、校舎を持っているわけですが、雄勝地区の各種団体がありました。その方々は、雄勝の小学校並びに中学校、小学校を統合しての1つになります小・中学校、大須のあの校舎へもって行って併設校という考えは、どなたもなかったんでしょうか。

○事務局次長兼教育総務課長（小畑孝志君） 地域住民としては、大須の今の立派な、10年程度たっていますけれども、その校舎への統合については、大須以外の学校の住民の方々はそちらへの統合はあり得ないと。それで、その大須も旧町への統合というのもあり得ない、それは旧雄勝町時代からのずっと流れできておりました。そういう中で、今回この震災を機に、小学校は小学校で1つに、中学校は中学校で1つに、そして、雄勝地域として併設校1本として、この大須地区とそれ以外の雄勝地区の中間点の大浜地区を選んでそこで統合するというのを、全地域住民の方々の総意のもとに、先日市長に陳情書を提出したという状況でございます。

○委員長（阿部盛男君） 大須地区も中間点に統合しながら建設して、そこに通学させるということについては、同意をしたということですね。

例えば、中間点大浜地区ですね、そこと船越を結ぶ中間点の高台は想定しているんでしょうか、山ですから全部高台ですけども。

○事務局次長兼教育総務課長（小畑孝志君） そうですね、大浜地区の海から見て少し上ですかね、100メートル程度上のところ、ちょうど今の雄心苑という介護施設、あれからもう少し下ってというか、東に行ったところです。

○委員長（阿部盛男君） 中間点といいますけれども、大須から見た場合、大須崎灯台あるところが大須地区なんですね、あと近いのが桑の浜なんですけど、あの古い小学校あった、廃校になった、最大遠い大須地区から中間点想定しているところ、それからあそこは味噌作、原の奥地から大浜の建設を予定している地域までの距離はどの程度あるんでしょうか。東側と西側。

○事務局次長兼教育総務課長（小畑孝志君） 中間点といいましても、雄勝地区の住民の方が中間点ということをおっしゃって、私どもで実測したわけではございませんけれども、大体の話ですけれども、ちょうどこれで見ますと大浜がここです。

○委員長（阿部盛男君） そこですね、ぐるっと回ってきますね、岬を。

○事務局次長兼教育総務課長（小畑孝志君） こう動いていきますね。

○委員長（阿部盛男君） そうじゃなくてこっち通る。

○事務局次長兼教育総務課長（小畑孝志君） こっち通るとこっち通ると2つあるんですよね、方法が。

○委員長（阿部盛男君） 大浜から船越側へ来て、大浜に抜けるという方法ね。はい、わかりました。あとぐるっと回る。

○事務局次長兼教育総務課長（小畑孝志君） ここと旧雄勝の町の中、こことこの中間という言い方しているんですね、旧雄勝の市街地といいますか、あそこ大須の中間点がちょうど大浜だという言い方をしているんです。ここが一番高台のとりやすい地域なんだというような考えのようです。

○委員長（阿部盛男君） 今お聞きしたのは、中間点にこだわると、その地域の地形によっては双方から余りにも遠過ぎて、通学する小学生低学年がうんと困るところもあるわけですね。例えば、大谷地小学校です。各集落の中間点にあるが、田んぼの中であるため真冬は北風、夏はかんかん照りで子供たちが通学しているわけで、中間点という表現上はうんといいんだけど、もっと実利的な面も検討して最終案にご配慮願いたいと思います。

○事務局次長兼教育総務課長（小畑孝志君） 今のところ、地域の方々については、味噌作といいますか、原地区といいますか、そちらには総合支所であるとか、公民館であるとか、そういったような公共施設はそっちと、それで学校はそっちというような話で、ただ、市長が了承したというのは、あくまでも大浜地区への小学校の統合については、この方法で検討はしますと言いましたけれども、ほかの検討課題については、今後検討させていただきたいというようなことで、雄勝地区の協議会にも伝えているところで、ほかはまだ検討に入った段階ということになるかと思えます。

○委員長（阿部盛男君） もう1点ですが、例えば統合併設小中学校1本にしてつくったというとき、現在の大須小学校の立派な校舎、校地、あそこは跡地利用についてはどうしようにお考えでしょうか。

○事務局次長兼教育総務課長（小畑孝志君） 前回申し上げましたとおり、私どもも立派な 10

年来の校舎、立派な校舎があるんで、やるのであればそちらへの統合という案も地域住民にも説明してきたんです。理解は得られませんでしたけれども、説明はしてきた。そういう中で、こっちのほうがいいという旧雄勝町の地域住民の方々の総意でございますので、そうなったわけでございますけれども、そうなってくると現在の大須小学校の校舎も今の利用、再利用といたしますか、そういうのがある。雄勝地区としましては、高齢者の福祉施設というようなことを検討しているようでございますので、我々も学校、今の時点で学校管理者でございますから、一緒になって検討はしてまいりたい。ただ、今のところはまっさらであります、10年たちますと、国の補助金で整備した施設であっても、他の公共施設に転用する場合は許可が得られるような法令改正が数年前になされておりますので、その辺は可能かと思っております。民間に売却というのは、ちょっとありませんけれども、ほかの公共施設に転用することは可能だと思います。

○委員長（阿部盛男君） わかりました。

雄勝地区についてそのほかございませんか。

（発言する者なし）

○委員長（阿部盛男君） それでは、雄勝地区については原案のとおり可決いたします。

次に、北上地区についてご質問等ございましたらどうぞ。

○委員（今井多貴子君） これを北上地区の住環境の整備にあわせて、にっこりサンパーク周辺に移転新築するとなっておりますが、地理的にあそこは全部グラウンドとかありますよね、現実。そうすると、あそこの山の上だけ想像すると、そこに住環境が整うというのは難しく、新しく新設の道路をかけた、山を削ったという作業があって、あそこに移転を計画しているということなんでしょうか。それで、この計画は前のページからあわせると、それをするとどのくらい計画が予定されているのか。

○事務局次長兼教育総務課長（小畑孝志君） 実は、ここにっこりサンパークから見て西側の山にも土取り場として削った用地が学校の敷地と言えば3つぐらいとれそうな、かなり広大な土地がございます。ただし、現在は地域の住家等を壊したが瓦れきが置かれておまして、その瓦れきの処分ができれば、あとは上下水道等、電気等の整備さえすれば、すぐに着工できるような広い土地がございます。

○委員長（阿部盛男君） よろしいでしょうか。

○委員（今井多貴子君） そうすると、その瓦れきの処分が何年までに済むということができなければ、その復興計画もまだ明記できないということになりますね。

○事務局次長兼教育総務課長（小畑孝志君） そうですね、市の議会でも先般いろいろ議論にな

りまして、1基当たり1日300トンだと、5基つくるんで1日1,500トンというようなときに、石巻だけで何百万トンとあるわけですから、当然平成25年度末までの処理は不可能であるというのを生活環境部部長がこの前答弁しておりましたので、その辺をできるだけ急いでやっていただきたいと、こちらも要望しておりますし、当然、北上地区住民も望んでいるという状況のようです。

○委員長（阿部盛男君） よろしいでしょうか。

この橋浦地区については、例えば現在3つの小学校が統合して1年間間借り生活をやってきていましたので、平成25年4月統合というようなことがあったとしても、新設校舎を建設するまでの間、条件が整った中で統合さえ終わるのであれば、現校舎を当分使用していきますね。それで、一番条件というのは、学習環境としては今のところいいということ。

○事務局次長兼教育総務課長（小畑孝志君） 現校舎を利用して統合した新しい学校として新校舎が整備されるまでの間、授業ができるという対応ですから。

○委員長（阿部盛男君） ですね、それで今後の進め方としては、地域住民の方々の統合への了解をとって行ってということになりますね。今の時点では先般の保護者なり地域住民に対する説明会等で、統合することについてはさほど異論というのはなかったように後でお聞きしていたんですけれども。

○事務局次長兼教育総務課長（小畑孝志君） 特に、PTAの3者の会長さんたちは、初めての3校合同のPTA全員総会というものを開いて、本案に了承しているということでございますので、平成25年4月に向けて、今後は具体的にどうしていくのかというのをPTAの方々ともこちらとしても協議をしたいというようなことです。

○委員長（阿部盛男君） そのほかございませんでしょうか。

（発言する者なし）

○委員長（阿部盛男君） それでは、北上地区につきまして原案のとおりとしてよろしいですか。

（「はい」との声あり）

○委員長（阿部盛男君） 牡鹿地区でございます。午前中閉校式をやってまいりました。そういうわけで、この4月、新年度から谷川小学校を大原小学校と統合ということです。関連して何かございましたらどうぞ。

ございませんでしょうか。

（発言する者なし）

○委員長（阿部盛男君） それでは、大体各地区見通しの立ったところと、あるいは雄勝地区、

河北地区のように今後なお慎重に地域住民がどこに居住地を求めるのか等の復興計画とにらみ合わせながら、それぞれの統合とあるいは校舎の新築等考えていくということですね。

それでは、以上で石巻市立学校施設災害復旧整備計画についての各項目の審議はすべて終了いたしました。

それでは、17号議案については、原案のとおり決定いたしました。

---

#### 第18号議案 職員の人事について

○委員長（阿部盛男君） 次に、第18号議案 職員の人事についてを議題といたしますが、これは人事案件でありますので、秘密会として審議することにしてよろしいですか。

（「はい」との声あり）

○委員長（阿部盛男君） ご異議ございませんので、第18号議案は秘密会をもって審議いたしますので、関係以外の方は退席をお願いいたします。

---

（秘密会開催）

---

#### その他

○委員長（阿部盛男君） それでは再開いたします。

審議事項の2件は終了いたしましたので、その他に入りたいと思います。

初め、委員方からございましたらどうぞ。

ございませんでしょうか。

（発言する者なし）

○委員長（阿部盛男君） ないようですので、課長方ありましたらどうぞ。

○学校教育課長（山田元郎君） 学校教育の方針と重点、平成24年版を策定いたしましたので、こちらについて紹介を申し上げます。

今回の特徴としましては、やはり安全・安心な学校づくり、教育環境の整備、充実という部分を学校教育の基本目標の中に取り入れるとともに、主な授業の中に確かな学力の育成ということで、石巻子どもの未来づくり事業、この前の学びステップアップへの後継授業を中心に、4ページをごらんください。こちらにあります石巻の子どもの未来づくり事業を学びステップアップの後継授業として確かな学力の育成ということで、充実を図っているところでございます。

また、5ページ、6ページには、生徒指導の充実ということで、心の教育を中心として子供た

ちの生き方指導を取り入れているところがございます。

あと、7ページに飛びますが、相談体制の充実ということで、被災した児童・生徒への心のケアが必要であるということから、スクールカウンセラー、ハイスクールカウンセラーの充実とスクールソーシャルワーカー、現在3名ということですが、これについても充実強化ということで、内容的に進めているところでここに示しております。

それから、11ページに小・中学校同士の連携ということで、情報交換の連携について小・中連携主任というのをこちらで位置づけているところでございますが、これにつけてもさらなる校種間交流等を含めて強化するように示しているところでございます。

それから、13、14ページ、これが今回の震災対応ということで、特に示すところでございます。安全確保、危機管理体制の整備、自然災害は別ということで、一般的な部分での安全確保、危機管理体制と、学校防災の充実ということで、自然災害、ですから、東日本大震災の教訓を生かした防災教育、それから児童・生徒の防災対応能力の育成、それから学校や地域との地域ぐるみの防災体制の構築というところで、特にこの部分は新しく示し、強化しているところということで、よろしくご理解していただければと思っております。

あとの部分については、これまで進めてきた国際理解教育、情報化、開かれた学校等については、やはり大事な部分として今後とも継続的に進めたいと思っております。

あと、主な行事予定を19ページ以降に示しておきました。東部教育事務所を踏まえ、4月から3月までの学校教育に関わる行事、学校訪問含めて示しておりますので、そちらを見ながら、今後の学校教育の平成24年度の進め方について参考にしていただければと思います。

以上、申し上げます。

○委員長（阿部盛男君） 何かこれについてご質問ありましたら。

よろしいですか。

（発言する者なし）

○委員長（阿部盛男君） そのほか課長方ございませんでしょうか。

（発言する者なし）

○委員長（阿部盛男君） 事務局からお願いします。

○書記（大崎正吾君） それでは、さきによりご案内しておりました3月29日木曜日の第3回定例会でございますけれども、1時半からというご案内をしておりましたが、前日から教育長が東京出張となりまして、帰りが午後になりますので、午後3時半からということで、開催時間を変更したいと思いますので、よろしくお願いたします。

以上でございます。

○委員長（阿部盛男君） そのほかございませんでしたら、以上をもちまして本日の臨時会を終了したいと思います。

早朝以来、大変長時間にわたりました。ご苦労さまでした。

午後 2時23分閉会

---

教育委員長 阿 部 盛 男

署名委員 津 嶋 ユ ウ